

関係各位

兵庫県病虫害防除所長

令和6年度病虫害発生予報第5号を発表します。

令和6年度病虫害発生予報第5号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稻	いもち病（穂いもち）	平年並	平年並
	<b>トビイロウンカ</b>	<b>やや多</b>	平年並
	<b>斑点米カメムシ類</b>	<b>やや多</b>	<b>やや多</b>
	イネツトムシ	平年並	平年並
	<b>コブノメイガ</b>	<b>やや多</b>	<b>やや多</b>
大豆	べと病	平年並	平年並
	葉焼病	平年並	平年並
	<b>吸実性カメムシ類</b>	<b>やや多</b>	平年並
野菜等共通	ヨトウガ	平年並	平年並
	<b>ハスモンヨトウ</b>	<b>やや多</b>	平年並
	<b>シロイチモジヨトウ</b>	<b>やや多</b>	平年並
	オオタバコガ	平年並	平年並
	ハイマダラノメイガ	平年並	やや少
果樹等共通	<b>果樹カメムシ類</b>	<b>多</b>	<b>多</b>

**太文字の病虫害**：向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

\* 気象の概況

近畿地方 1か月予報  
 (9月7日から10月6日までの天候見通し)

令和6年9月5日  
 大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報 (09/07~10/06)		
2024年09月05日14時30分 大阪管区气象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 09/07~10/06	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
1週目 09/07~09/13	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 09/14~09/20	気温	2週目は、高い確率80%です。
3~4週目 09/21~10/04	気温	3~4週目は、高い確率70%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 09/07~10/06	
		1週目 09/07~09/13	
		2週目 09/14~09/20	
		3~4週目 09/21~10/04	
降水量	近畿太平洋側	向こう1か月 09/07~10/06	
	近畿日本海側	向こう1か月 09/07~10/06	
日照時間	近畿地方	向こう1か月 09/07~10/06	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## \* 発生概況及び防除対策上の留意点

根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

## 水稻

### 1 【いもち病（穂いもち）】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 葉いもち、穂いもちとも平年並（±）  
気象予報 気温は高い（-）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（+）

### 2 【トビイロウンカ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）  
加西市（農業技術センター）の予察灯につづいて、8月26日に南あわじ市（淡路農業技術センター）の予察灯でも誘殺が認められた。  
8月下旬の巡回調査において、生産ほ場で発生が確認された。  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

### (3) 防除上の留意点

- ア 本種は海外飛来性害虫であり、“坪枯れ”を起こす重要害虫である。増殖型の短翅型雌と幼虫は株元に生息している。ほ場での発生状況をよく観察して発生を認めれば早期防除に努める。
- イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。
- ウ 防除にあたっては、令和6年度病虫害発生予察防除情報第6号（令和6年7月19日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1138>）を参考とする。

### 3 【斑点米カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

### (3) 防除上の留意点

- ア 本田内の雑草を除去するとともに、本虫種の発生源にならないように休耕田、放置田の雑草管理を適正に行う。
- イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

ウ 防除にあたっては、令和6年度病害虫発生予察注意報第2号（令和6年8月2日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1146>）を参考とする。

#### 4 【イネツトムシ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

#### 5 【コブノメイガ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（+）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

#### (3) 防除上の留意点

ア 窒素過剰な場合や多収品種、飼料用品種などは葉色が濃く、被害を受けやすい。

イ 止葉の食害、カスリ状の食害痕に注意する。

ウ 薬剤防除は、病害虫・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。

### 大豆

#### 1 【べと病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）  
気象予報 気温は高い（-）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（+）

#### 2 【葉焼病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

#### 3 【吸実性カメムシ類】（ミナミアオカメムシ、アオクサカメムシ等）

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

#### (3) 防除上の留意点

ア 着莢期に成虫が飛来し、吸汁や産卵をする。成虫は好適な餌がある場所を求めて移動するが、卵からふ化した幼虫はそのまま滞在し、黄熟期まで加害し続けるため、薬剤散布は着莢期から10日間隔で2～3回実施する。

イ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

## 野菜等共通

### 1 【ヨトウガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

### 2 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

#### (3) 防除上の留意点

ア 本種の幼虫は、ピーマン、ナス、キャベツ、レタスをはじめ多くの野菜類を加害する。

イ 卵塊や集団でいる若齢幼虫を見つけたらすみやかに捕殺する。

ウ 中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。

エ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

### 3 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）  
気象予報 気温は高い（+）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

#### (3) 防除上の留意点

ア 本種の加害植物は、ネギ、キャベツ、ピーマン、ナス、レタスをはじめ多くの野菜類のほか、豆類、花き類など広い範囲に及ぶ。

イ 本種は茎葉の柔らかい部分を好んで食害する性質があり、定植直後の被害には特に注意する。

ウ 薬剤散布を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布する。

### 4 【オオタバコガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±、一部少一）

気象予報 気温は高い（＋）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

## 5 【ハイマダラノメイガ】

- (1) 予想：発生量 平年並  
(2) 根拠：発生現況 誘致植物\*（クレオメ）での発生量はやや少（－）  
気象予報 気温は高い（＋）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）

\*対象とする害虫が好む植物で、発生状況を調査するために用いられる。

## 果樹等共通

### 1 【果樹カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 **多**  
(2) 根拠：発生現況 予察灯、フェロモントラップへの誘殺数は**多**（＋）  
気象予報 気温は高い（＋）  
降水量は平年並（日本海側）～多い（太平洋側）（±）  
その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は発生が多い年に該当する。現在、主に第1世代成虫が盛んに園地に飛来していると推察される。9月以降、第2世代も入り交じって園地に飛来し、発生が長期化する可能性がある。

### (3) 防除上の留意点

- ア 各園地で見回りを実施し、発生を認めたら速やかに薬剤防除を行う。  
イ 果樹カメムシ類は夜間を中心に活動するため、薬剤散布は夕方に行うと効果が高い。また、移動性が高いため、薬剤散布は広域的に一斉に実施し、地域全体の密度を下げるのが望ましい。  
ウ 薬剤防除は、病虫害・雑草防除指導指針、地域の防除暦等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守る。  
エ 令和6年度病虫害発生予察注意報第1号（令和6年5月2日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1072>）、同防除情報第3号（令和6年5月28日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1084>）、同防除情報第5号（令和6年7月12日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1129>）及び同注意報第3号（令和6年8月13日発出、<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1159>）を参考とする。

防除上の留意点に記載している内容のほか、兵庫県総合防除計画を参照してください。

\*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>

\* 病害虫・雑草防除指導指針 農薬の検索は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/noyakusearch/hyogo>

\* 病害虫・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

\* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)を開設しています。  
発生予察情報など病害虫に関する情報をいち早く提供しますので、是非フォローお願いします。

Xアカウント ([https://twitter.com/hyogo\\_boujosh](https://twitter.com/hyogo_boujosh))

